

【1】 症状と原因

■症状

PCに搭載されているハードディスクの最少記録単位(セクター)のサイズが4KB(4096B)よりも大きい場合に次の症状が発生します。

- ・SQLServerのインストールに失敗する
- ・どっと原価 NEO をご利用中の親機を Windows11/WindowsServer2022 にアップグレードし、セクターサイズが4KBよりも大きい場合にSQLServerによる影響でどっと原価 NEO を正常に起動できない

■原因

PCに搭載されているハードディスクの最少記録単位(セクター)のサイズが4KBよりも大きい場合にSQL Serverのインストールや起動ができなくなる症状がMicrosoft社のホームページにて報告されております。

[4KBを超えるシステムディスクセクターサイズに関連するエラーのトラブルシューティング \(Microsoft 社\)](#)

ご利用の環境が該当するかどうかは、[【2】セクターサイズの確認方法](#)にてご確認ください。

《対象のお客様》

親機が、Windows11/WindowsServer2022 かつハードディスクの最少記録単位(セクター)のサイズが4KB(4096B)以上

【2】 セクターサイズの確認方法

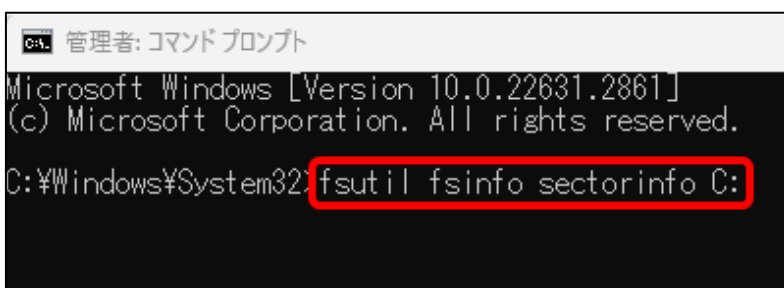
親機にて以下の手順に沿ってご確認ください

- ① Windowsのスタートボタンをクリックし、検索ボックスに「cmd」もしくは「コマンドプロンプト」と入力します。
- ② 最も一致する検索結果に表示される「コマンドプロンプト」を右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。



- ③ 以下の文字列を入力してエンターキーを押下します。

fsutil fsinfo sectorinfo C:



- ④ 表示された結果のうち「PhysicalBytesPerSectorForAtomicity :」、「PhysicalBytesPerSectorForPerformance :」の大きい方の値を確認します。

値が 4096 を超える場合に【1】の症状が発生します。



```
管理: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.4946]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

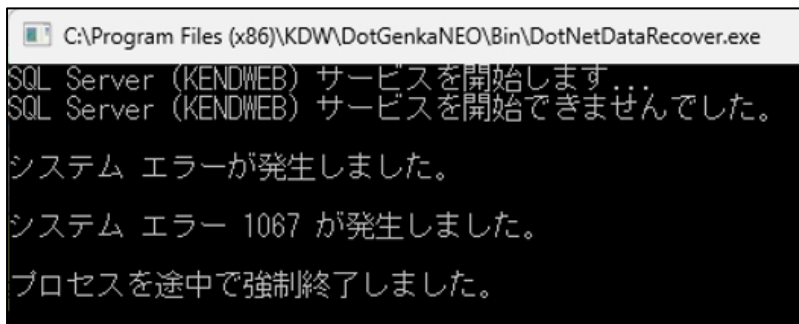
C:\Windows\System32>fsutil fsinfo sectorinfo C:
LogicalBytesPerSector : 512
PhysicalBytesPerSectorForAtomicity : 4096
PhysicalBytesPerSectorForPerformance : 16384
FileSystemEffectivePhysicalBytesPerSectorForAtomicity : 4096
デバイスの配置 : 配置 (0x000)
デバイス上のパーティションの配置 : 配置 (0x000)
シーク ペナルティなし
トリムをサポート
DAX に対応していません
仮想プロビジョニングされていません
```

【3】 対処方法

■エラーメッセージ

SQLServer(KENDWEB)サービスを開始できませんでした。

システムエラー 1067 が発生しました。



```
C:\Program Files (x86)\KDW\DotGenkaNEO\Bin\DotNetDataRecover.exe
SQL Server (KENDWEB) サービスを開始します...
SQL Server (KENDWEB) サービスを開始できませんでした。
システム エラーが発生しました。
システム エラー 1067 が発生しました。
プロセスを途中で強制終了しました。
```

回避策は 3 通りございます。

なお、【1】を推奨いたします。別 PC の用意が難しい場合は【2】をご検討ください。

- [1] ハードディスクの最少記録単位(セクター)のサイズが 4KB(4096B)以下の別 PC を用意し SQLServer とどっと原価 NEO をインストールする。
→【2】セクターサイズの確認方法を参考にセクターのサイズが 4KB(4096B)以下の PC があるかご確認ください。
- [2] OS 設定でセクターサイズを「4096」とみなすように設定し SQLServer とどっと原価 NEO をインストールする。
→次ページ【2】OS 設定でセクターサイズを「4096」とみなすように設定をご参照ください。
- [3] SQLServer のエディションが「Standard」または「Enterprise」の場合、セットアップ可能なドライブを確認し セットアップ可能なドライブへインストールする。
→詳細は巻末の【補足】をご覧ください。

※インストール方法は【4】インストール方法をご参照ください。

【注意】

設定を誤った場合、OS に問題が発生する可能性がございます。弊社では責任を負いかねます。
必ず以下の Microsoft 社公式文章をご確認の上、作業を行ってください。

[4KB を超えるシステムディスクセクターサイズに関連するエラーのトラブルシューティング \(Microsoft 社\)](#)

以下は Microsoft 公式文書から抜粋・補足した手順です。

- ① Windows のスタートボタンをクリックし、検索ボックスに「レジストリ」もしくは「regedit」と入力します。
- ② 最も一致する検索結果に表示される「レジストリエディター」をクリックします。



- ③ レジストリエディターが表示されましたら、左上のアドレスバーに次行のパスを入力してエンターします。
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥stornvme¥Parameters¥Device



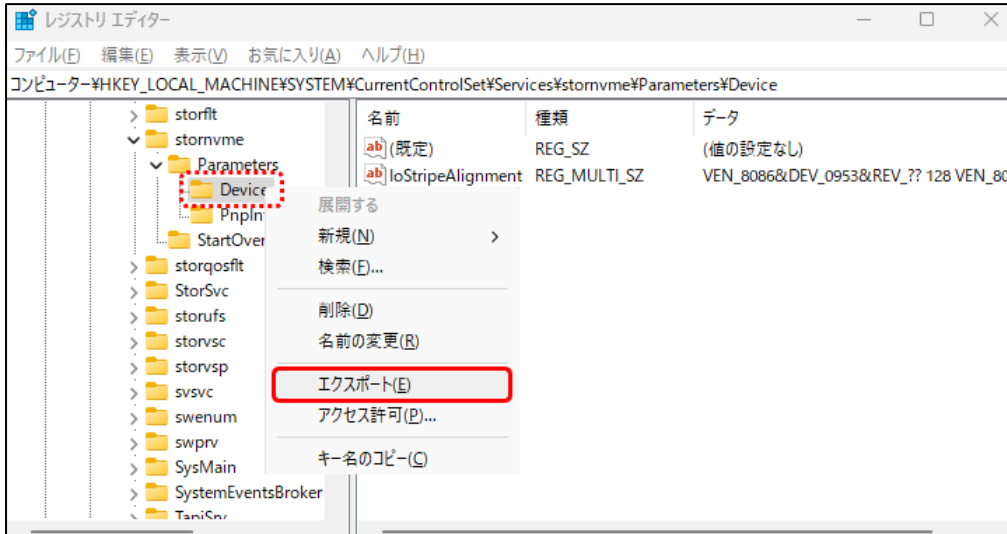
もしくは、左のツリーから以下を順に開きます。

「HKEY_LOCAL_MACHINE」>「SYSTEM」>「CurrentControlSet」>「Services」>「stornvme」>
「Parameters」>「Device」

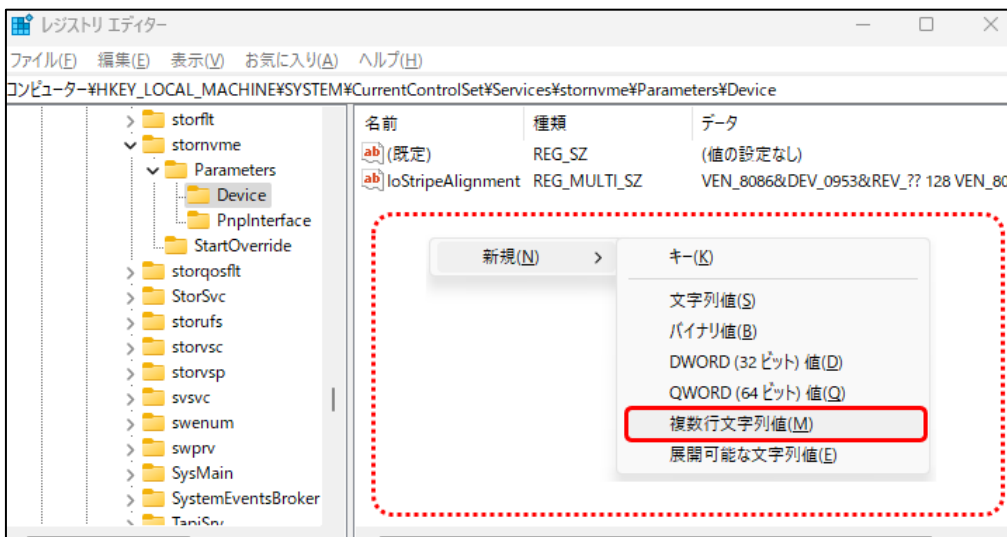
- ④ レジストリ変更前にバックアップを作成します。バックアップは設定を誤った場合に使用します。

「Device」を右クリックして、「エクスポート」をクリックします。

レジストリファイルのエクスポート画面が表示されますので、デスクトップ等のご希望の保存先を選択して保存します。

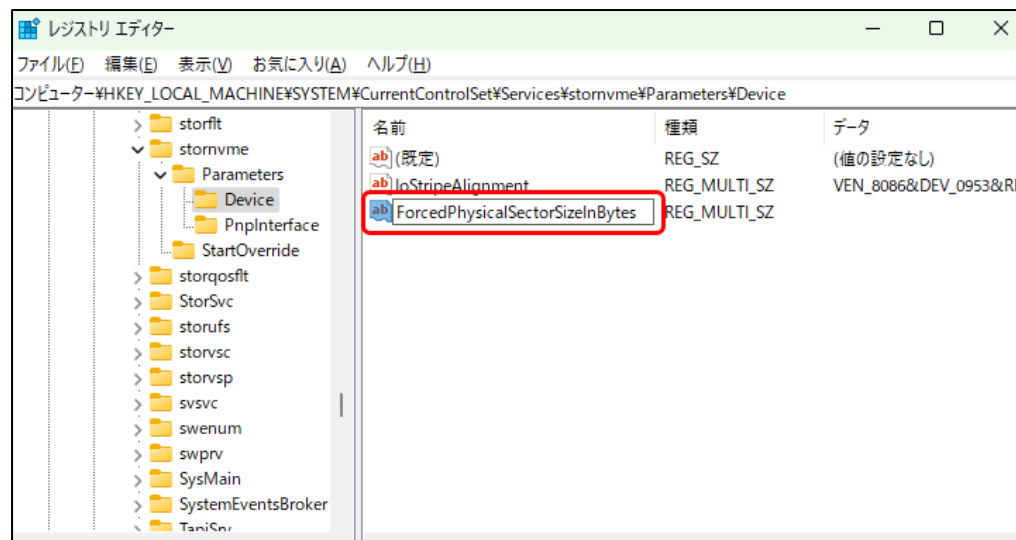


- ⑤ 右側の何も無い空白部分を右クリックし、「新規」>「複数行文字列値」をクリックします。

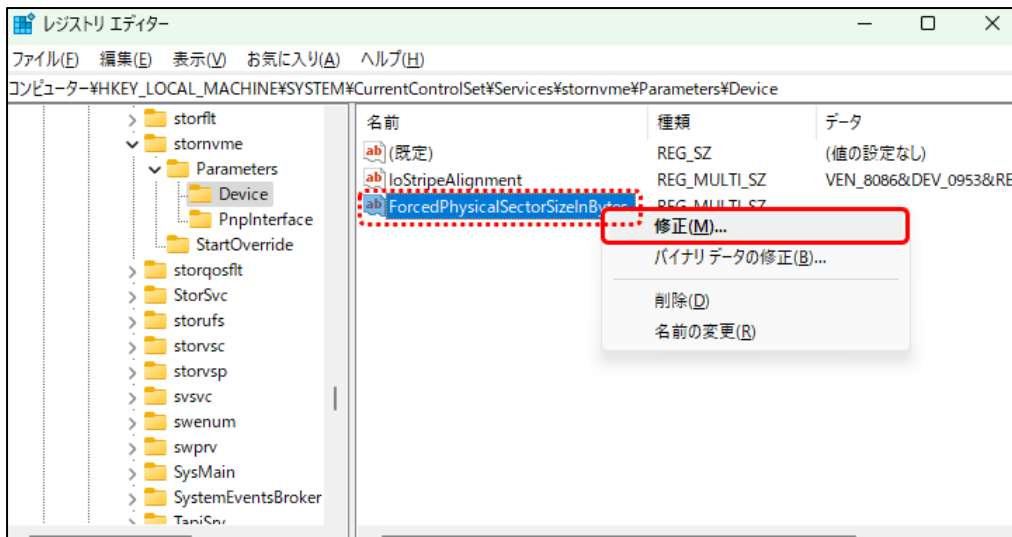


- ⑥ 新しく作成された行の名前を次行の通り設定します。(すべて半角です)

ForcedPhysicalSectorSizeInBytes

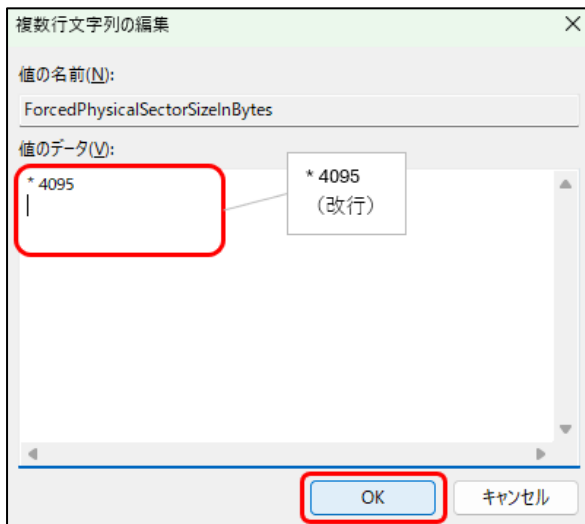


- ⑦ 作成した「ForcedPhysicalSectorSizeInBytes」を右クリックし、「修正」をクリックします。



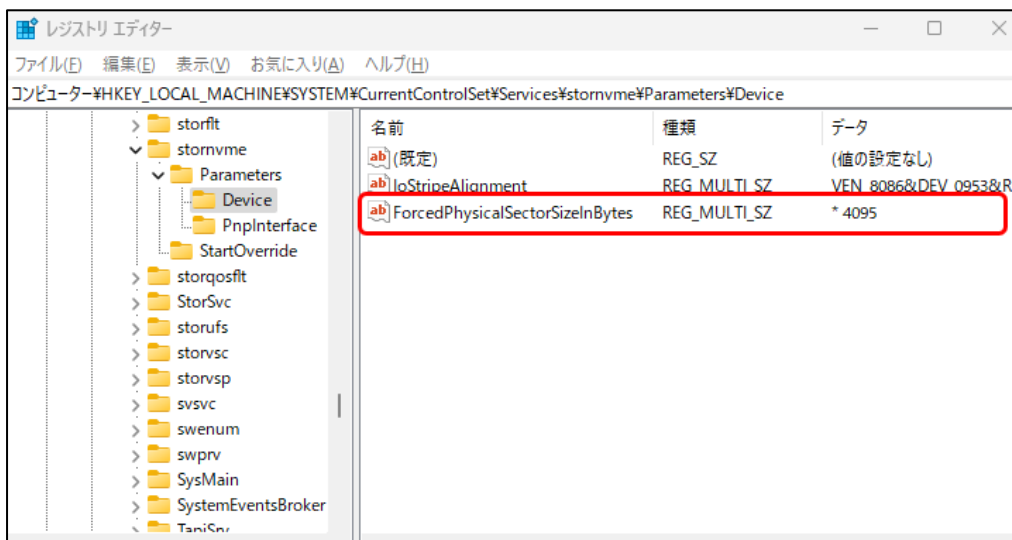
- ⑧ 複数行文字列の編集が表示されます。値のデータ欄に「* 4095」と入力し、さらに改行しOKします。
(すべて半角で入力します。「*」と「4095」の間に半角スペースが必要です。)

*** 4095**



- ⑨ 以下の設定になっていることをご確認ください。

名前	種類	データ
ForcedPhysicalSectorSizeInBytes	REG_MULTI_SZ	* 4095



- ⑩ Windows を再起動します。

- ⑪ P1、**【2】セクターサイズの確認方法**の手順で「PhysicalBytesPerSectorForAtomicity :」、
「PhysicalBytesPerSectorForPerformance :」の大きい方の値が「4096」になっていることをご確認ください。

- ⑫ **【4】インストール方法**を参考に SQLServer とどっと原価 NEO をインストールします。（作業は以上で完了です。）

【4】 インストール方法

SQLServer とどっと原価 NEO のインストールにつきましては[インストールマニュアル](#)をご覧ください。

【補足】SQLServerのエディションが「Standard」または「Enterprise」の場合


以下の手順にてセットアップ可能なドライブがあるかを確認します。

- ① Windows のスタートボタンをクリックし、検索ボックスに「cmd」もしくは「コマンドプロンプト」と入力します。
- ② 最も一致する検索結果に表示される「コマンドプロンプト」を右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。
- ③ セットアップ可能なドライブを判定します。PC 上のドライブごとに判定を行ってください。
次の通り文字列を入力してエンターキーを押下します。（「sectorinfo」と「確認するドライブ」の間に半角スペースが必要です。）

fsutil fsinfo sectorinfo 【確認するドライブ】

例えば、C:ドライブを判定する場合は以下の文字列を入力します。

fsutil fsinfo sectorinfo C:



```
管理: コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.22631.2861]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.
C:\Windows\System32> fsutil fsinfo sectorinfo C:
```

- ④ 表示された結果のうち「PhysicalBytesPerSectorForAtomicity :」、「PhysicalBytesPerSectorForPerformance :」の大きい方の値を確認します。
 - ・値が 4096 または 512 の場合は、SQLServer をセットアップ可能なドライブです。
 - ・値が 4096 または 512 以外の場合は、SQLServer をセットアップできないドライブです。
- ⑤ 判定結果をもとに以下をご確認ください。
 - ・SQLServer とどっと原価 NEO をインストールしても良い、セットアップ可能なドライブがある → ⑥へ
 - ・上記以外の場合 → P3 へ
- ⑥ [[4]インストール方法]を参考に SQLServer とどっと原価 NEO をインストールします。（作業は以上で完了です。）

以上